



「瀬棚フィリーズ」が道新旗争奪檜山少年軟式野球大会で優勝！

7月19日（土）、20日（日）、厚沢部町を会場に開催された「第14回道新旗争奪檜山少年軟式野球大会」で、「瀬棚フィリーズ」が見事優勝しました。

決勝戦は、せたな町の少年野球チーム「瀬棚フィリーズ」と「大成ベアーズ」の対戦となりましたが、接戦の末「瀬棚フィリーズ」が延長8回サヨナラで6-5で大成ベアーズを破り優勝を手にしました。

◎表彰選手

- ・最優秀賞／神田 嵐（瀬棚フィリーズ）
- ・優秀賞／三上真優（大成ベアーズ）
- ・打撃賞／澤田孝秋（瀬棚フィリーズ）
- ・敢闘賞／光銭太陽（大成ベアーズ）

第19回 北の白虎まつり

8月12日（火）、JA新はこだて若松基幹支店北の白虎ライスターミナル前広場において、第19回「北の白虎まつり」が開催されました。

この日は、二俣風神太鼓の演奏で祭りがスタート。会場では旬の道南野菜の即売会や白虎米を使ったおにぎりや牛乳の無料配布が行われ、大勢の人で賑わいました。

特設ステージでは、ビンゴ大会をはじめ、彩川さくら歌謡ショーや桜庭さんによる「真夏のさわやかライブ」が行われたほか、会場内では似顔絵パフォーマー「おえかきこみゆ」さんによる似顔絵パフォーマンスが披露され、ラストは豊作祈願として餅まきが行われるなど、さまざまなイベントで盛り上がりました。



元コンサドーレ札幌 大森健作さんの少年サッカー教室が開催されました

8月2日（土）、瀬棚区三杉球場を会場に、現在スポーツキャスターなどとして活躍する元コンサドーレ札幌の大森健作さんによる少年サッカー教室が開催されました。

これは、北海道のスポーツ・文化の振興や青少年の健全育成などを目的に活動するNPO法人 ReBra（理事長 三上恵司）が、活動の一環として講師に元コンサドーレ札幌の大森健作さんを迎え各地でサッカー教室を開催しているもので、今回はせたな町を会場に開催されました。

教室には、せたな町の少年サッカーチーム せたなジュニアFCや江差町、上ノ国町から約30人の選手が参加し、地元せたな町の高校生 新保雄太さんが大森さんのアシスタントとして教室をサポートするなど、アットホームな雰囲気子どもたちも楽しみながら大森さんの指導を受けました。教室終了後には、大森さんから選手たちへ「暑い中とても楽しく出来ました。参加してくれたみんながとても素直で、まだまだ吸収する力が見えました！」とのコメントをいただきました。

三重県の愛農学園農業高校生徒 20名をせたな町で実習受入

7月25日（金）、せたな町役場において、三重県の愛農学園農業高校2年生20人の実習受入式が行われました。

実習先農家でもある倉田健さん（瀬棚区で酪農業を営む）が、以前、当学園で教師をされていたことが縁で、昨年からは、せたな町で実習受入が開始され、今年で2年目となりました。

受入式では、高橋町長から歓迎のあいさつの後、愛農学園からのあいさつ、受入農家の紹介があり、最後は生徒の自己紹介の中で実習に向けての意気込みも発表されました。

生徒たちは7月25日（金）～8月8日（金）までの2週間、せたな町と今金町を合わせた11の受入農家でそれぞれ実習を受けました。



今年で3回目の受入 ふくしまキッズ・せたなサマースクールを開催

8月6日（水）から11日（月）までの6日間、東日本大震災による福島第一原発事故の影響で、屋外での活動が制限されている福島県の子どもたちに実りある夏休みを過ごしてもらおうと「ふくしまキッズ・せたなサマースクール」（主催：同実行委員会）が行われました。

このサマースクールは今年で3回目の開催となり、今回は小学3年生から6年生22人を受け入れました。6日（水）から8日（金）までは民宿に滞在しながら、海水浴、マリンスポーツ、野菜収穫体験、パークゴルフ、ジンギスカンなど、多彩な自然体験を中心に楽しみました。9日（土）、10日（日）はせたな町と今金町の受入家庭9戸にホームステイし、交流を深め翌11日（月）にせたな町を後にしました。



町内の小学1・2年生を対象とした 少年少女水泳教室が開催されました

8月4日（月）から8日（金）の5日間、せたな町民プールにおいて、少年少女水泳教室が開催されました。

この教室は毎年、町内の小学1・2年生を対象として夏休み期間中に開催しているもので、今年は33人の子どもたちが受講しました。

講師には、町内の小学校教諭、スポーツ指導員、道南共済職員、町職員らがあたり、能力別に5グループに分けて指導を行いました。

当初は水に顔を浸けることができない子どももいましたが、講習を重ねることで、水にも慣れ、楽しみながら泳ぎもどんどん上達していました。

